

東松島復興推進員だより(第36号)

東松島市地域復興推進員(JICA 東北)

岩崎 未来

【今号のトピック】

1. 地域復興推進員が着任しました
2. エスディージーズSDGsカードゲーム体験会を開催しました

1. 地域復興推進員が着任しました

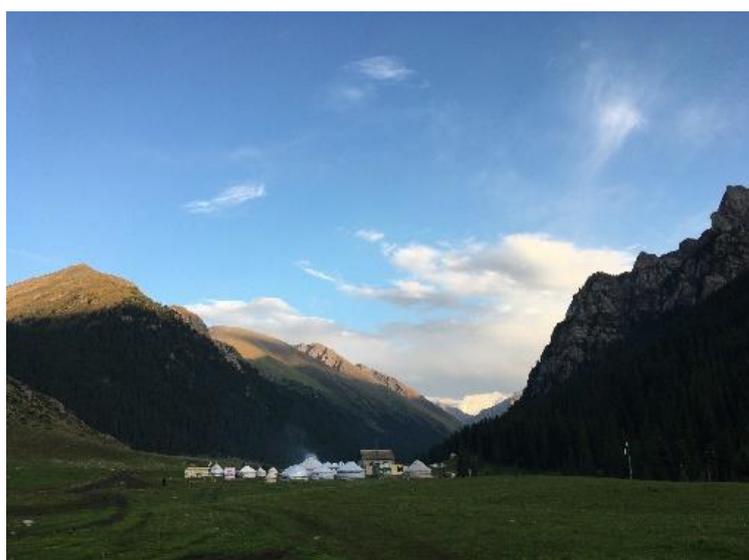


岩崎 未来

はじめまして。11月1日より地域復興推進員として復興政策課へ着任した、岩崎未来（いわさき みく）と申します。

私はJICAの青年海外協力隊として2016年10月から2年間、シルクロードで有名な中央アジアにあるキルギス共和国の保育園で、現地の先生と共に子どもたちに図画工作を教えていました。キルギスには「昔、日本人とキルギス人は兄弟だった。」という古くからの言い伝えがあるように、顔立ちが日本人と似ている人も多い、親日の国です。

推進員になったきっかけは、大学時代に東松島市にある松島自然の家でボランティアとして活動していた経験から、お世話になった場所で自分の経験を活かして何か貢献したいという想いがあったからです。「世界を身近に」をモットーに、東松島市民の皆さんが海外に興味を持っていただくきっかけ作り、そしてよりよいまちづくりにつながるよう、国際理解や市が活発に取り組んでいるSDGsの推進支援を中心に、学校や地域コミュニティで信頼関係を築きながら活動していきたいと思っています。これからどうぞ、よろしくお願いいたします。



左：キルギスの伝統的な家である、移動式テント型の「ボズィ」（写真中央）と広大な自然
右：配属先の保育園でお店屋さんごっこを楽しむ子どもたち

2. SDGsカードゲーム体験会を開催しました

12月18日（火）東松島市コミュニティセンターにて、SDGs（持続可能な開発目標）について楽しく学べる、SDGsカードゲーム体験会が行われました。

SDGsとは、「地球に住む全ての人が、誰一人として取り残されず、幸せに暮らせる世界」を実現するために、世界の国々がみんなで考えた、2030年までの達成を目指す17の目標のことで、東松島市は、2018年6月に内閣府から29のSDGs未来都市のひとつに選定され、現在SDGs未来都市計画を策定し『持続可能なまちづくり』の実現を目指し様々取り組んでいます。今回の体験会は、市民の皆さんにSDGsについて知ってもらうために開催されたもので、当日は約40名が参加、16のチームに分かれカードゲームを行いました。



SDGsカードゲームの様子

このカードゲームは、チームごとに与えられた『幸せな人生を送るために必要な目標』（例：十分なお金があり、豊かな世界で暮らしていくこと）の達成を目指しながら、与えられた『時間やお金を使って世界やチームに影響を与えるプロジェクトを行う課題』（例：清潔な水を得るために、新しく井戸を掘る）に取り組んだり、他チームと交渉したりすることで、2030年までの世界がどう変化していくのかを疑似体験できるものです。参加者は、初めてのゲーム

にとまどいながらも、積極的にチーム内で協力して楽しんでいました。

ゲーム後の振り返りでは、『ルールを理解するまでは自分の身の回りのことに目が行きがちでチームの目標達成しか頭になかったが、次第に世界の状況が悪くなっていることに気づき、身の回りの取り組みから世界を良くしようとするに目が向くようになり、考えが変わった』、『世界をよくするにはみんなで協力することが必要だと気付いた』等の声があり、参加者それぞれの気づきが大きい体験会になりました。また中には、『頭の体操になってよい』、『SDGsについて口頭で説明を受けるより体験型の方が分かりやすかった』といった声も聞かれ、今回のカードゲーム体験会を通じてSDGsについての理解が深まったのではないかと思います。



『エスディーゼーズ!!』
掛け声に合わせて集合写真

『SDGsって知ってますか?』と尋ねると、『横文字が多くて分からない』『聞いたことはあるけど、実際にどんなことをするの?』といった市民の皆さんの声をよく聞きます。推進員として着任してから早くも2か月が経とうとしていますが、市民の皆さんの率直な意見を受け止め、東松島市にとってSDGsが身近な存在になることを目指し、市の方々と協力しながら活動を進めていきたいと考えています。

〈参考〉「東松島 SDGs 未来都市について」

<http://www.city.higashimatsushima.miyagi.jp/index.cfm/22,12588,71,html>